



王国に集める者となる 相談員用

「それらの束は、無駄にならないように倉に納められるであろう。」アルマ 26 : 5



相談員のグループに対して、天の御父の王国に集める者となるとはどういう意味かについて、これから一緒に話し合うことを説明します。わたしたち一人一人は、幕の両側にいる自分の家族を集めるという重要な役割を担っています。そうする中で、各自が救いの計画において、それぞれの役割を果たします。また神殿・家族歴史相談員として、わたしたちはほかの人々も同じことをするように助けるという役割を果たします。ディスカッションを進める際、この概要を活用してください。

相談員と集会をする前に、この概要で使用されるビデオを前もってダウンロードしておくといよいでしょう。

1. ビデオ

ビデオ「A Sacrifice of Time (時間を捧げる)」を視聴する準備をします。ビデオを視聴しながら、次の質問に対する答えに耳を傾けるように出席者に言います：ネルソン会長は、わたしたちに何を行うように勧めていますか。

2. ディスカッション

ネルソン会長は、わたしたちに何を行うように勧めていますか。(ネルソン会長は会員に、家族歴史活動と神殿の業に時間という犠牲を捧げるよう勧めています。)

この質問に回答する人は、教義と聖約 128 : 15を引用するかもしれません。だれかが犠牲について言及するまで、出た答えをホワイトボードに書きます。

ネルソン会長はこう言いました。「わたしは皆さんに祈りの気持ちでお勧めいたします。今年、家族歴史活動と神殿の業をさらに実践するために何を犠牲にしたらよいか、恐らく時間の犠牲が望ましいですが、そのことについて考えてください。」

3. ビデオ

ビデオ「Gatherers in the Kingdom (王国に集める者となる)」を視聴する準備をします。ビデオを視聴しながら、次のことについて出席者に深く考えてもらいます：ネルソン会長が次のように述べたとき、その言葉はどのような意味だったのでしょうか。「わたしたちは主の聖約の民です。主はわたしたちを頼りに

しておられます。」次の短いビデオクリップを視聴しながら、この質問を絶えず心に留めておいてください。七十人のブラッドリー・D・フォスター長老は、ネルソン会長のお話しについて自身の見解を述べています。

4. ディスカッション

ネルソン会長が次のように述べたとき、その言葉はどのような意味だったのでしょうか。「わたしたちは主の聖約の民です。主はわたしたちを頼りにしておられます。」

聖約の民であるわたしたちの役割について、ビデオの中でフォスター長老が教えている事柄について話し合います。

(だれかが「集める者」について言及するまで、出席者の答えをホワイトボードに書くとよいでしょう。)

5. 基本的な原則

集める活動—家族の責任

次のページの図を見てください。

- わたしたちと家族は、天の御父の計画において、集める者です。
- 第一の集合場所は家庭です。家族は家庭で学び、家族の思い出を分かち合い、その情報を紙面の家系図やオンラインのファミリーツリーに記録します。テクノロジーが利用できてもできなくても、究極の家族歴史センターは家庭にあります。

- 一旦ファミリーツリーに集められた家族は、その後、神殿の聖約と儀式に安全に集められます。

6. ビデオ

ビデオ「Enabling Families to Gather Families (家族が家族を集めるのを助ける)」を視聴する準備をします。ビデオを視聴しながら、次の質問について深く考えてもらいます：ほかの人々が神殿と家族歴史の業にもっと時間を使うよう助けるために、わたしたちに何ができるのでしょうか。

7. ディスカッション

ほかの人々が神殿と家族歴史の業にもっと時間を使うよう助けるために、わたしたちに何ができるのでしょうか。

最近、家族歴史の召しにおいて奉仕する人々の名前が変更されました。現在、わたしたちは皆、神殿・家族歴史相談員と呼ばれます。

わたしたちの第一の責任は、ほかの人々が自分の先祖を見つけ、その名前を神殿に提出し、さらにそのほかの人々にも同じことをするように教えるに当たって、御霊に従う方法を学び、神殿に焦点を当てるように助けることです。この務めは、その人の状況に合わせて個人的に行われるべきです。

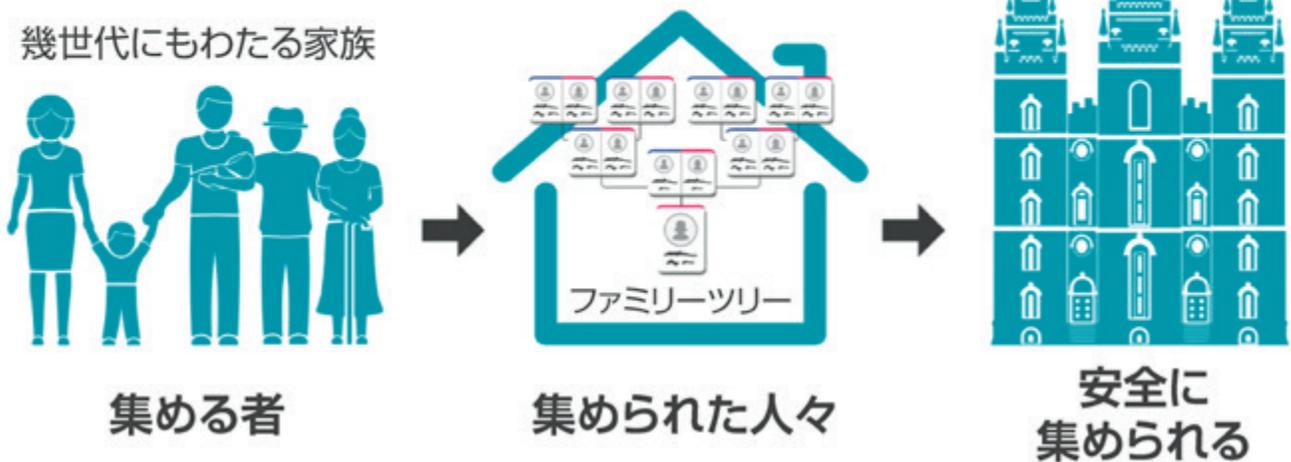
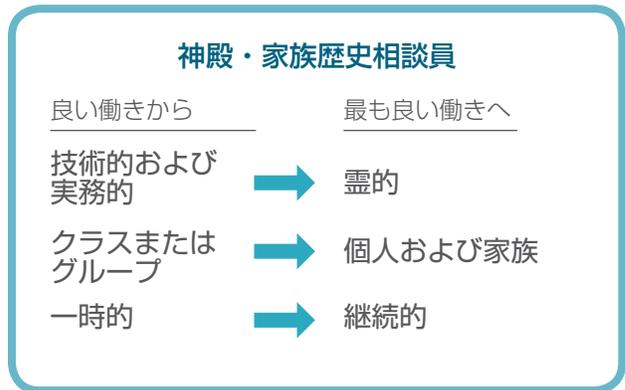
大管長会がこの変更を行った理由は何だと思えますか。皆さんにとって、この変更はどのような意味がありますか。

こうした責任に焦点を当てることで、神殿と家族歴史の取り組みが、単に良い働きから最も良い働きへなるようにする必要があります。

家族歴史について、神殿・家族歴史相談員がどのようにすれば次のように考えられるか話し合います。

- 技術的で実務的な経験として考えることから、祈りによって始める非常に霊的な経験へ。
- 大きなクラスやグループで行う活動から、家族内で行う個人的な経験へ。
- 一時的な取り組みまたはイベントから、家族による継続的な取り組みへ。

その結果、個人と家族は、家族につながる名前を携えて定期的に神殿に参入する喜びを享受できるようになります。



8. 基本的な原則

神殿・家族歴史の組織

わたしたちの地域における家族歴史に関する変更は、個人や家族が聖霊の導きを受け、その人の状況に合わせて個人的に行われる家族歴史の経験ができるように助けるうえで、直接的にどのような関連があるでしょうか。

これは家族の問題です。理想的には、各個人の助けとなる主要な情報源は、その人自身の家族から得られます。しかし神権指導者の指示の下で、神殿・家族歴史相談員はその取り組みにおいて家族を助けるよう召されています。

ワードで直接家族とともに働く神殿・家族歴史相談員は、有能なステーク神殿・家族歴史相談員から訓練を受けます。

それらのステーク相談員は、以前は地域家族歴史アドバイザーと呼ばれていた地域神殿・家族歴史相談員から訓練を受けます。

9. ディスカッション

今日わたしたちの地域において、どれほど成果を上げているでしょうか。わたしたちは、どのような状況を望んでいるでしょうか。そこまで到達するには何をする必要がありますでしょうか。

次のような答えが考えられます。教会における最良の神殿・家族歴史相談員とは、救い主が教えられたように教える人です：

- そうした相談員は、人々を1対1で助けます。
- 教える人々を愛します。
- 自分の召しにおいて人々を助けるために、心から主に祈り求めます。
- ほかの人々をもっとよく教えることができるように、進んで学び、能力を向上させます。
- ほかの人々を助けるための6つの原則を応用します。
- クック長老が述べているように、相談員は家族歴史探求の専門家である必要はありません。家族歴史の初心者であってもよいのです。青少年でもいいですし、あるいは気持ちが若い人でもよいでしょう。

わたしたちは自分の召しを果たすうえで、どうすれば主の助けを受けるのにふさわしくなれるでしょうか。

霊的な備えと祈りは、ほかの人々がそれぞれの家族を見つけるのを助けるうえで非常に大切です。皆さんは自分が支援する一人一人のために準備を始めるとき、まず、神殿の儀式を行ってもらう用意のできている人々へと導いてくださるように、主に祈り求める必要があります。皆さんは探求活動の専門家である必要はありませんが、御霊の導きに従うことにおいては卓越した者となるように努める必要があります。御霊は、今日皆さんがどうすればよいか分からないことを行えるように助けてくれる人々のところへ皆さんを導き、また皆さんがほかの人々を助けるのに必要なリソースを見つけられるように助けてくださいます。

助けを得るために、どのようなツールやリソースが利用できるでしょうか。

グループの人々に、神殿と家族歴史の奉仕に役立つ、利用可能なツールを挙げてもらいます。以下のようなツールが考えられます：

- 神殿・家族歴史相談員
- 小冊子『わたしの家族—わたしたちを一つにする思い出』
- FamilySearch.orgのようなオンラインツール
- New Temples
- 相談員プランナー
- 1対1で支援する経験
- 地域またはステークの神殿・家族歴史相談員からの訓練

安息日の礼拝において「神殿の儀式を受けるために幕の両側で家族を集める活動」はどのような役割を果たすでしょうか。

家庭や教会で、どのように神殿と家族歴史の業を行うことができるでしょうか。それによって会員が安息日をより有益に過ごし、天の御父の戒めを尊ぶことでもたらされる祝福を得られるように、どのように助けられるかについて話し合います。

この勧めを受け入れる人々を待ち受ける祝福には、どのようなものがあるでしょう。

グループの人々に、自分の家族を探し出し、彼らの神殿の業が確実に完了されるようにする人々にもたらされる祝福を幾つか挙げてもらいます。

この業は、できるだけ数多くの親族の人々を見つけることではなく、個人を見つけて、その人の業がすべて

確実に行われるようにすることである点を強調してください。

10. ビデオ

ビデオ「Promised Blessings of Family History (家族歴史からもたらされる約束された祝福)」を見せる準備をします。わたしたちが自分の親族を見つけ、彼らの名前を神殿に提出し、ほかの人々にも同じことをするように教えるとき、多くの力強い祝福が約束されています。

ビデオを視聴しながら、次の質問について熟考してもらいます：これらの祝福のうち、自分自身と自分が仕える人々のために望むのは、どの祝福だろうか。

11. ディスカッション

これらの祝福のうち、自分自身と自分が仕える人々のために望むのは、どの祝福だろうか。神殿と家族歴史の業からもたらされる祝福について教え、分かち合うために、今すぐ何を行いますか。相談員に、これまで学んだことをどのように応用しようと思っているか、話してもらいます。時間が許す場合は、参加者に、神殿と家族歴史の業に携わることから得た個人的な経験を分かち合ってもらいます。

12. まとめ

基本的な原則やディスカッションの中で印象に残ったことに言及してレッスンを終わるとよいでしょう。神殿・家族歴史の業が個人と家族をどのように祝福するかという証を分かち合ってください。